



平成16年11月12日

各位

東京都千代田区丸の内3丁目2番3号  
株式会社 ニコン  
(コード番号 7731)  
問合せ先 コーポレートセンター  
広報・IR部ゼネラルマネジャー  
岡本 恭幸  
TEL 03-3216-1032

平成17年3月期業績予想(連結・単独)の修正に関するお知らせ

平成16年5月10日の決算発表時に公表した平成17年3月期中間期(平成16年4月1日~平成16年9月30日)の業績予想について、下表のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 17年3月期中間期連結業績予想数値の修正(平成16年4月1日~平成16年9月30日)

(金額単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	320,000	1,000	3,000
今回修正予想(B)	312,000	4,600	7,800
増減額 (B - A)	8,000	3,600	4,800
増減率 (%)	2.5%	360.0%	160.0%
前期(平成16年3月期 中間期)実績	240,917	515	2,046

2. 17年3月期中間期単独業績予想数値の修正(平成16年4月1日~平成16年9月30日)

(金額単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	250,000	5,000	1,000
今回修正予想(B)	236,000	2,300	5,000
増減額 (B - A)	14,000	7,300	4,000
増減率 (%)	5.6%	- %	400.0%
前期(平成16年3月期 中間期)実績	161,362	5,133	357

3. 修正の理由(連結・単独)

当中間期の、半導体関連機器の市場環境は、特に国内およびアジア市場において改善いたしました。これを背景として、当社の精機事業に関わる半導体製造装置の売り上げが大きく伸び、また、液晶製造装置への投資も活発化したことにより、精機事業の収益は大きく改善いたしました。映像事業につきましても、一眼レフタイプの「デジタルカメラ D70」および交換レンズや、新製品のコンパクトデジタルカメラ「COOLPIX 5200/4200/4100」などにより、売上高は前年同期実績を大きく上回りましたが、当初見込んだ売上高には及びませんでした。

この結果、連結および単独の業績は、売上高は前回予想をやや下回ったものの、経常利益および中間純利益も前回予想を上回る結果となりました。

なお、通期の業績予想につきましては、当下期の市場環境の不透明さが拭えないことから、現段階では平成16年9月29日に公表いたしました業績予想の修正に関するお知らせの通りといたします。

以上